

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」熊谷校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月10日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	2025年 11月 7日 ～ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と密に連携を取り、お子様の発達サポートの為に何をすればよいかを全職員が理解し取り組んでいること。	朝礼終礼、打ち合わせなどで密に職員同士で情報共有をして、お子様に最適な支援を提供できるようにプログラムを立案している。	支援の質を向上できるように研修や、全体で意見を出し合っ て自己研鑽に励んでいる。
2	支援計画の更新を丁寧に行い、モニタリングアセスメントで次の課題を設定し支援に当たれている。	作成時に打ち合わせや、情報を共有し合うことを指導員や児 管の間で密に行っており、最適な課題設定をすることが出来て いる。	アセスメントで聞き取ったことを全員が意識できるように、 支援ファイル等に張り出す。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がないところ	ニーズが少数数の為、企画時にどのようにして交流をして子 どものサポートの為にできるかがはっきりできていない。	他教室が実施している所の情報共有をいただき、保護者様に 周知徹底を図り、多くの人に参加をしていただく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」熊谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

54

回収数

52

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	4	1			今後も継続して参ります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	47	2		3	今のままで適切だがもう1人いたら余裕ができると 思う。 子供がぐずったときに先生とお話ができ、対応が スムーズにできそう	個別での対応や、決められている制度の下、人員を 配置しております。 お子様が落ち着かない時でも個別の対応ができます ので、ご安心ください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47	4	1	3	全てバリアフリー化が難しいと 思いますが工夫されていると思う	出来る限りどなたでも使えるように、教 室内にマットを設置し特性に合わせられ るよう配置をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	4		2		今後も継続して参ります
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	50	1		1	子どもひとりひとりに何かもう少し必要な支援が 欲しい すべての職員が子どもの特性を理解して下りそ れに沿った支援を考えていて感謝しています	モニタリング時に聞き取りをさせていた だき、少しでもニーズに沿った支援の提 供を心掛けております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	50			3		今後も継続して参ります
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	50	2		1	子どもの話も親の話も時間を取って しっかり聞いてくださっています。	どんなことでも、ご相談ください。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	49	2		1		今後も継続して参ります
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	49		1	2		今後も継続して参ります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	49	1	1	1		今後も継続して参ります
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	13	9	11	19	他の子どもと活動する機会はイベントできりに 通う子たちとの交流だけで十分なので他のクラブ の 子との関わりは必要ないと思う	ニーズがありましたら、実施を検討して いきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	50	2				今後も継続して参ります
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	51	1				今後も継続して参ります
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	24	6	8	14	家族等が参加できるイベントはないが 子どもへの声掛け対応、研修会、家族支援プログラムがあると今後 できるのならばとても助かります。 参加してみたいです	募集をかけて小集団での実施ができるよ う計画を練っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	49	2	1			今後も継続して参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	1	1	1	面談でこちらの欲しい助言を いただけている	FBや、家庭連携の際に、少しでもサポー トできるよう心掛けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50	1	1		よくやっていただけている。 こちらの気持ちを理解してくださって助かってい ます。 とてもそう感じます。	個別対応として、寄り添った支援を提供 できるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	8	11	24	兄弟もイベントに参加できるといいなと 思います 参加してみたいです	受給者証をお持ちの方向けのサービスで すので、ご利用を検討している際にはご 相談ください。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	1		6	相談しやすい環境をつくってくださりその都度的確に対応してくれています	FBや、家庭連携の際に、少しでもサポートできるよう心掛けています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	51			1	よく配慮されていると思う	関係各所と連携のご要望がありましたら、対応させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	45	2	2	5		今後も継続して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50			2		今後も継続して参ります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	1	1	3		今後も継続して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	46			6		今後も継続して参ります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	48	1	1	3		今後も継続して参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	43	1	1	8		今後も継続して参ります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	49	3	3			今後も継続して参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	5	5	2	その日の気持ちにもよるとても楽しみにしている	個別で楽しく療育に励めるようプログラムを工夫しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	2	2		今のままで充分ですが、きらりの指導員が学校に行き、子どもの様子を見たり学校と連携ができたらとても助かります	ご希望がございましたら、お声がけください。また、園や学校との連携は相談支援員や、保護者様に会議や連携の設定をしていただけたら、対応させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」熊谷校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別に空間を分けている。パーテーションを利用し、スペース確保ができています。	構造上、音や声を遮ることができないため、配慮が必要な利用者様の際は配置を変えることで対応します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		定員や子どもの状態に対して、職員の配置数が適切である。	FB中の他兄弟、次の時間帯の利用児を含めると込み入った状態になってしまうので入室時の時間設定でできる限りの対応を致します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	滑りにくくするためマットを設置しています。	外に段差があり、転倒する恐れがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている。月1回エアコンや空気清浄機の掃除をしている	網戸がないため都度空気の入れ替えが難しいときがありますが入れ替えができる時は行っています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的には個別の部屋になっている	特性に応じて柔軟に対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な面談、定例会議、毎日の朝礼を行っている	今後も継続して会議を行い、風通しの良い教室作りを致します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全体会議を設けている	質の向上を念頭に都度実施し検討していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼や終礼を行い、業務改善を行っている	ご利用者様の情報をしっかり共有できるように継続して実施していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		U内巡回を定期的に行っている	発達支援研究所を第三者としている。必要に応じて保護者への発信を検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回以上実施されている	支援の質向上を全員で目指し、社内外の研修に参加、共有をしています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援計画に沿った内容で組まれている	行政の指示に従って進めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年以内にアセスメントを実施し、そこから計画を作成している	アセスメントを正確に取り、適した計画を作成するよう心掛けます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員が参加し考えを1つにまとめている	全員が共通した認識で支援に当たれるよう会議を実施していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		朝礼や回覧等で知る機会が必ずとられている	支援の芯になるところなので確実に全員が共通認識になるよう実施していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		今年度も改定あり	社内で検討されたフォーマットをもとに実施していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		更新時にしっかりと障がいやニーズにあわせて支援を設定している	保護者様と相談しながらニーズに沿った支援内容を明記していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		計画をもとに作成。その子の様子を都度全体で共有し立案している	個別にて、対応職員がローテーションの対応をしているので、支援がぶれないようにしていきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		いろんな職員が担当するため、プログラムが固定化することはない	固定化はしないがぶれないように全体で相談し、個別支援計画をしっかりと確認しながら支援プログラムを設定します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	月1回集団活動を行っている	基本は個別支援
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼・終礼などで情報共有している	個別の良さが生きるように、しっかりと除法共有をしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼・終礼などで情報共有している	気づきからサポートできる点を模索しながら療育を実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後必ず記録を記入。全職員に共有している	PCでの記録を徹底していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年以内での更新にしている	期限を守り実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		多角的に支援を行っている	基本活動を念頭に支援を実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容をいくつか用意し、利用者に選択する機会を設けている。考える力を意識している	こども任せにしすぎないように支援を実施していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と職員で参加することが多い	ご要望に応えられるよう参加をさせていただきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		担当者会議を実施している	必要に応じてこちらから確認を取って連携していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	ご利用者様を通して年間計画や行事等の日程を確認している	関係機関連携以外で学校と密に情報共有をすることがほばない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	園見学を行っている	現状ニーズ無し
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	必要に応じて確認しています	現状ニーズ無し
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	機会がありましたら参加させていただきます	児童発達支援センターとの関わりが薄い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	AJが参加されているイベントに参加をさせていただくことがあります	現状ニーズ無し
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		実施時に参加をしている	開催回数が少ないので、確実に参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後に保護者の方と話をするFBがある	FB以外でもお話を聞きながら共通認識が取れるよう実施していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	FBで相談援助を実施している	ペアトレの研修に参加し的確にサポートできるようにしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時・変更時にプリントをお渡しし説明している	変更時は即対応をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		FBやモニタリングアセスメント時にお話を伺っている	個別支援計画に基づいた支援の提供を行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		きちんと説明して同意を得ている	ご契約時に説明していきます

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FBや家族支援を実施している	必要に応じて、家族支援を実施していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	受給者証をお持ちでしたらイベント等きょうだい同士で交流する機会を設けております	ニーズ無し
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口を設けている	苦情があった時には迅速に対応ができるよう心掛けてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram・ブログ・LINEなどで情報を共有している	定期的にブログ、Instagramを上げさせていただいております。周知はできていないため、教室での掲示をさせていただきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫にて保存	だしっぱなしがないよう、今後も取り扱いに十分気を付けていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害の有無については状況に応じて保護者と相談し対応。外国籍の方はひらがなで対応。わかりやすく簡単に話すなど対応している	どのような情報伝達がわかりやすいのかしっかりと考えながら利用者様保護者様と関わり合っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	AJが参加されているイベントに参加をさせていただくことがあります	ニーズ無し
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年度初めに掲示。マニュアルがあり研修訓練を定期的に行っている	事故のないよう、緊張感をもって訓練を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難経路を確認。訓練など利用者を変えて行っている	地域的に川が近くにあるのでそれも交えて訓練をしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者から資料を提供	必要に応じて確認をさせていただきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーにかかわるイベント時には確認している	アレルギーにかかわるイベントがあるときには徹底してまいります。確認を怠らないようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルがあり研修訓練を定期的に行っている	担当委員が出席し教室内に周知を行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		口頭や掲示でお知らせをしている	利用者様も参加でき実感が湧けるよう支援していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さいこどもでもヒヤリハットをあげて、情報共有している。改善に向けて環境を変えたりしている	改善に向けて今後どうすればヒヤリハットが減るのかを考えていきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っている	客観的に支援ができているか職員同士で確認していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の研修を受け、保護者にも説明し承諾を得ている	「身体拘束に関する同意書」にご同意いただく際「お子様の安全確保の為に身体拘束であること」の説明を行っています。